

## 第 18 期委員会活動報告 (2015 年 10 月～2016 年 9 月)

### 1. 総務委員会

委員長 横田 崇

#### 1. 事務局との契約時期の変更について

学会大会運営に伴う事務局業務の円滑な実施のため、事務局業務の契約時期を 1 ヶ月後ろにずらし 11 月から翌年 10 月末までとし、学会大会終了後、会長(改選時には新会長)が事務局業務実施事業者との契約を結ぶこととした。

#### 2. 会員名簿の作成に関するアンケートの結果について

学会員名簿の作成・配布について、個人情報保護等社会情勢の変化もあり、その必要性について、会員の意向を確認するためのアンケートを実施した。その結果、アンケートの回収率は良くなかった (8.5%) が、配布希望が 31.4%、配布希望無しが 58.6%であった (別紙アンケート結果参照)。

#### 3. 会長選出方法等の検討について

会長指示により、会長、理事、監事等の役員の選出方法について、理事会で意見交換を行った。結果、委員会メンバーの選出方法も含め、引き続き議論することとした。

### 2. 企画委員会

委員長 中村 功

#### 1. 企画委員会の開催

ほぼ月 1 ペースで 8 回開催。学会シンポ・ワークショップの準備運営など。

第 1 回 15 年 12 月 7 日

第 2 回 16 年 1 月 18 日

第 3 回 16 年 2 月 29 日

第 4 回 16 年 4 月 28 日

第 5 回 16 年 5 月 26 日

第 6 回 16 年 6 月 25 日

第 7 回 16 年 7 月 26 日

第 8 回 16 年 8 月 25 日

#### 2. 情報共有ワークショップの実施

2016 年 6 月 25 日 「熊本地震に関する情報共有のためのワークショップ」を開催。会場は東洋大学。都司嘉宣会員、藁谷峻太郎会員、北村弥生会員、干川剛史会員、中村功会員、伊勢正会員、森山聡之会員から情報提供がなされ、会場では活発な議論がなされた。

#### 3. 学会シンポジウム・勉強会の開催

- ・16 年 2 月 20 日 第 23 回勉強会「2015 年関東・東北豪雨、鬼怒川水害の実相に迫る」国交省伊藤下館事務所所長 @東洋大学 約 50 人参加 「タイムリー」と好評。

- ・16年9月3日 「鬼怒川水害から1年 ～情報と避難を考える～」  
入江さやか会員、田中淳会長、廣瀬昌由会員、高杉徹氏、島田健一会員が登壇。  
会場では活発な議論がなされた。
- 4. 2016年度・学会大会に向けての活動  
2016年度学会大会(日本大学)に向けて実行委員を出すなどサポート活動を行った。
- 5. 災害情報学事典の発行  
3月10日 朝倉書店から発行
- 6. 防災学術連携体関係  
日本学術会議へ「日本学術会議協力学術研究団体」指定の申し込みを行った。  
担当者の追加 沼田会員  
会議への参加 12/24、1/9 田中会長発表、6/3  
協賛金の支出  
「防災国民大会」8/27, 28 への対応

### 3. 予算委員会

委員長 岩田 孝仁

1. 第18期前期は中間決算資料作成  
事務局による経理処理・経理台帳・中間決算(案)を点検・精査し、中間決算書を作成した。
2. 第18期後期は本決算書の作成(添付資料参照)
3. 第19期予算書の作成(添付資料参照)

### 4. 広報委員会

委員長 鷹野 澄

1. ニュースレターの発行  
広報委員・幹事による編集会議を経て、下記のとおり季刊のニュースレターを予定通り発行し、学会員などに学会関連情報の発信を図った。
  - (1) ニュースレター第63号の発行(2015.10)  
特集:火山災害と住民とのリスクコミュニケーション
  - (2) ニュースレター第64号の発行(2016.1)  
特集:平成27年関東・東北豪雨
  - (3) ニュースレター第65号の発行(2016.4)  
特集:東日本大震災5年
  - (4) ニュースレター第66号の発行(2016.7) ※拡大版(6ページ)  
特集:熊本地震
2. ホームページの随時更新  
事務局におけるホームページ更新の体制が整備され、ホームページを通じた学会活動の発信を行った。
3. 学会サーバの更新(2016年3月)  
学会ホームページやメーリングリストのサーバの提供サービスが、2016年3月

末で終了となる為、新たなプロバイダのサービスを比較検討して選定し、3 月中に、学会ホームページやメーリングリストを移行完了した。

4. その他

ニュースレターは、各都道府県の防災主管部局に対して郵送し、地方自治体への PR に努めた。

## 5. 学会誌編集委員会

委員長 牛山 素行

1. 2016 年 7 月 : 災害情報 No. 14 発行

→ 特集「東京電力福島第一原子力発電所事故から 5 年」 依頼原稿 9 編

→ 投稿論文 査読論文 10 編 / 調査報告 3 編

※本号刊行に際してミスが生じ、再発行となった。詳細別紙。

2. 投稿規定の整理・刊行スケジュールの変更

- ・今期より、査読の時期を 2 回とした。第一回が 6 月末締切、第二回が 12 月末締切。
- ・印刷物の発行は、従来通り年 1 回のみ（今年度より 6 月発行）、オンラインでの公開（オンラインフォースト）などにも対応。
- ・投稿規程を変更し、論文の種別を一つに統一した。

### 投稿規定抜粋

「論文の内容は、防災・災害情報に新たな貢献が期待できるもので、結論の導出過程が適切であるものとする。なお防災および災害情報に新たな貢献ができるものであれば、従来の学術論文の体裁にとらわれず、下記の内容に該当するものも論文の対象とする。

- ・災害情報に関する理論的・実証的な研究成果で、対象の開拓、新しい点・手法の導入、従来手法の統合化などによって明確な結論を得たオリジナリティの高いもの。
- ・災害情報に関する理論的・実証的な研究成果で、有用な結果を得たもの。
- ・調査報告（災害情報に関わる調査結果を、客観的に報告したもの）
- ・事例紹介（災害情報に関わる様々な取り組み、事例について紹介したもの）

3. 「災害情報 No. 15」の発行に向けた準備

- ・第一回原稿締切を 6 月末から、7 月中旬に延長し、編集作業を開始。

## 6. 廣井賞等表彰審査委員会

委員長 片田 敏孝

2016 年廣井賞の公募及び選考を行い、第 18 回学会大会にて授賞式及び受賞記念講演会を開催する。また、阿部賞および河田賞の選考を行い 10 月 23 日に授賞式を行う。

- ・ 16/4/8 2016 年廣井賞候補推薦公募開始（ホームページ、ニュースレター、一斉メール）

### 資料 3: 第 18 期委員会活動報告

- 16/6/11 2016 年第 1 回委員会（締め切りを 6 月末まで延長）
- 16/6/30 2016 年廣井賞推薦募集締め切り（学術分野 0 件、社会貢献 4 件の推薦を受理）
- 16/7/14 2016 年廣井賞第 2 回表彰審査委員会（表彰候補の決定）
- 16/8/19 2016 年廣井賞候補の理事会へ報告（表彰候補・業績・選考理由等を添え）
- 16/8/26 推薦者・受賞者へ結果の通知
- 16/10/6 2016 年廣井賞選考結果公表（ホームページ）
- 16/10/23 2016 年廣井賞授賞式、受賞記念講演（第 18 回学会大会にて）
- 16/10/25 2016 年阿部賞・河田賞授賞式（第 18 回学会大会にて）